

第1回検討会の委員コメント等を踏まえ、本検討会における各要望（別紙）の検討を次のとおり進めてはどうか。

- 過疎地域の燃料供給体制の維持に資することが期待される方策であり、実施方法やその安全対策等の検討が技術的に進んでいるものについて、モデル的な導入や社会実装化の方法等に係る検討に着手。

＜項目の例＞

- ・ ハード面の設置・維持に係る費用負担が大きい等の意見があることを踏まえ、地上タンク（簡易計量機を含む。）や、タンクローリーと可搬式計量機を接続して給油等を行うシステムを活用する場合の方策。
- ・ 経営効率化や事業多角化に対する意見が多いことを踏まえ、屋外における展示販売等の業務、営業時間外における敷地の多目的利用、セルフ給油取扱所におけるタブレット等IT機器を活用したフィールド内での給油許可等を行う場合の方策。
- ・ 小さな拠点における取組みの一環として、効率的な燃料供給・流通網の構築が必要であるとの意見を踏まえ、危険物（灯油等）と日用品をタンクローリーにより巡回配送する場合の方策。また、地域住民が用いる農業・林業用機械器具に必要な燃料の注油作業を行う場合における安全管理・確保方策。

- AI等、技術開発が新たに必要であるものや途上であるもの、安全性の検証が必要であるもの等については、必要に応じてシミュレーションや実験を実施しながら、その取扱いについて検討していく。
- その他の給油取扱所に関連する規制の合理化については、要望や提案の内容に応じ、必要な対応を検討。

第1回検討会における委員からの提案、及び委員のコメントを踏まえ、要望事項を以下のとおり整理。

<過疎地域の自治体から要望された事項>

- ①地上タンクを設置する給油取扱所の活用方策
- ②タンクローリーと可搬式給油設備を接続して給油等を行う給油取扱所の活用方策

<ガソリンスタンド関連事業者団体から要望された事項>

- ③給油取扱所における簡易計量機の活用方策
 - ア ローリーから簡易計量機への詰替技術
 - イ 簡易計量機の容量制限のあり方
 - ウ 簡易計量機の油種指定の柔軟化
- ④給油取扱所の事業多角化
 - ア 屋外給油取扱所のキャノピー制限(1/3以下)の緩和
 - イ 新・中古車販売、レンタカー・カーシェア事業、宅配ボックス等の設置等、屋外での展示・販売等の業務を可能とする方策の検討
 - ウ 営業時間外におけるスペース活用の検討
- ⑤セルフ給油取扱所におけるタブレット等IT機器を活用したフィールド内での給油許可
- ⑥セルフ給油取扱所におけるA I 監視等による自動給油許可

<第1回検討会委員コメントに基づく事項>

- ⑦危険物(灯油等)と日用品の巡回配送による燃料供給方策
- ⑧給油者を限定した給油取扱所における危険物の取扱いや危険物取扱者のあり方